

中学校区におけるめざす児童像 主体的に学び続ける子 ①自ら進んで課題設定し、問題解決を行い、振り返ることができる子②他者とつながり、共感・協働できる子 ③失敗を恐れず、自分の課題にチャレンジし続ける子の育成をめざす。
--

令和8年度 重点目標 「豊かな心・健やかな体・確かな学力の育成」という本校の学校教育目標をもとに、中学校区におけるめざす児童像 主体的に学び続ける子 に迫るため、以下の示すめざす子ども像・学校像・教職員像により近づいていくことで学校力を向上させていきたいと考えている。 めざす子ども像：『ひがしっ子』のひ・人を大切に作る子・が：がんばりぬく子・し：しっかりと自分を見つめ考える子の育成 めざす学校像：『安全・安心な明るく楽しい学校』『一人ひとりの良さを伸ばし学びあう学校』『家庭・地域に開かれた信頼された学校』風土の醸成 めざす教職員像：『夢と情熱を持ち子どもとともに成長し続ける教職員』『自ら学び続け確かな指導力を発揮する教職員』『こどもの安全・安心を守り人間力のある教職員』への薫化

確かな学力の現状 ○令和7年度は、【学びのコンパス】の理念でもある学びを自分ごととして捉えるために、ペア学習やグループ学習などの対話的で協働的な学びに重点を置いた授業づくりと安心と居心地のよさをベースとした基礎的環境整備が主体的・対話的な学習習慣を定着させることにつながった。昨年度の成果を土台としつつ、今年度は、①【対話の質の向上と「深める」学習の重点化】として対話する際の内容の焦点化(キーワードの提示など)を図り、学年ごとに段階的な「対話の素地づくり」を行う。課題を見つけた後の思考を「深める」過程を重点的に取り組んでいきたい。②【ICT活用と対話の融合】「対話とICTの活用をつなぐ」という方向性を新たに切り入れ、ICTを効果的に活用して、自分の考えをもつ・対話する・考えを深めるプロセスをより豊かにし、実生活とつながる学びで確かな学力につなげたい。	豊かな心・健やかな体の現状 ○令和7年度の「豊かな心」を育むでは、学びの調査・アンケート結果によると、「自分には良いところがある」について肯定的評価が90%を超え、学校教育アンケートの「いじめのない学校にしたい」では肯定回答率が97%であった。 ○「健やかな体」を育むでは、「運動することが好き」と答える肯定回答率が87%。休み時間もほとんどの子どもが運動場に出て、元気に体を動かし活動できている。業間活動の充実が授業への集中力を高める好循環を生んでいることや学校全体で体力向上をめざした体育の授業改善の研究実践が評価され、大阪小中学校体育研究協議会より優良賞を受賞した。今年度も運動することが好きという子どもが大半を占める 本校の良さ強みを活かして、さらに子どもたちの体力向上につながる体育活動を増やしていきたい。 さらに、1人1台端末に追加された健康観察アプリを活用し、心と体の健康保持増進につながる保健教育にも取り組んでいきたい。
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	基礎基本の定着	自己選択・自己決定を原則とした学習方法で、読む・書くの基礎力と聞く・話すの基本を定着させる。	●毎朝「モジュール学習」「読書タイム」実施。 自己選択・自己決定を原則 とした学習スタイルで認知トレーニングやタブレット学習(ドリルパーク)を行う。	学校アンケートで「朝のモジュール学習や読書タイムは好きですか」児童の割合は83%	学校教育アンケート	通年 3学期			
			授業の中で、必ず自分の考えをノートに書く場面を取り入れ、考えや学習の足跡がわかるようなノート指導に取り組む。	学校アンケートで「自分の考えを書いたり話している」児童の割合は83%以上。	学校教育アンケート 児童のノート	通年 3学期			
	授業改善	対話の質の向上と【深める】学習の重点化した指導とICT活用と対話の融合に取り組み授業改善を図る	●ICTを活用した学びで考えをもち他者と対話したり考えを深めるプロセスで実生活につながる学びに取り組む。	学校アンケートで「ICTをつかった学びは楽しい」児童の割合は80%以上	学校教育アンケート	3学期			
			東っ子スタンダードを徹底し、ペア学習やグループ学習などの対話的で協働的な学びから、自らの学びのめあてを選び取る学習スタイルに挑戦する。	学校アンケートで「自分の考えを書いたり話している」児童の割合は80%以上。	児童のノート 学校教育アンケート 授業観察	通年 3学期			
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する。	●児童会活動を充実させ、思いやりの心、高学年のリーダーシップ等を育て、社会性を高める指導を充実させるとともに、いじめのない学校をめざす。	「いじめのない学校にしたい」で肯定的評価90%以上。	学校教育アンケート	1学期 2学期 3学期			
			★最後までやりきる達成感、達成感が得られる活動を行い、自己効力感を育てる。	「自分にはよいところがある」で肯定的評価80%以上。	学習状況調査	3学期			
			特別活動・道徳教育を軸に、すべての学習活動で互い違いを認め尊重し、共に生きようとする態度を養う。	「人の役に立つ人間になりたい」肯定的評価80%以上	学習状況調査	通年 3学期			
			一人ひとり児童に積極的にかかわり肯定的に受容することで児童の自己肯定感と教職員への信頼度を高める。	「先生はよく話を聞いてくれますか。」「先生によくほめてくれますか。」についてともに肯定率80%以上。	学校教育アンケート	通年 3学期			
体力向上	体力向上推進校の指定を受け、保健健康指導の充実と運動に親しみ環境整備と、体力の向上に取り組む。	体力向上推進校として、保健体育の授業の質の向上と、体育的行事への取り組みの充実を図る。	学校全体で「運動することが好き」という肯定回答率85%をめざす。	学校教育アンケートなど	通年				
		●児童一人ひとり心の健康や小さなSOSを見逃さないようICTを活用した健康観察アプリで保健指導の充実を図る。	こころの健康観察アプリ 早期発見・未然防止の事案の対応と分析	学校教育アンケートなど	通年				
(地域連携)	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域と共に歩む学校づくりを進める。	★学校ホームページ、学校だよりを活用し、教育活動の情報発信を行う。	学校アンケートで「学校は、教育方針や教育活動の様子を校報やホームページ等でよく伝えている」と答えた保護者の割合は90%以上。	学校教育アンケート	通年			
			●「児童たちの安全と安心のために」を合言葉に、保護者、地域の方とつながる学校づくりを行う。	見守り活動や地域の行事において、地域・学校・保護者が連携して取り組んでいる。	進捗状況 学校協議委員 のご意見	通年			

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------